

男女共同参画社会をめざす情報紙

さざなみ



NARITA

No. 22 号

成 田 市  
2010 年 2 月 発行



～あらゆる場に男女が参画し 協働するまちづくり～



第5回男女共同参画セミナー、本年度の締めくくりにふさわしく、参加された皆さんの熱い視線！

★ Contents (主な内容) ★

- ☆ みんなで支えるみんなで子育ての  
要旨
- ☆ セミナー受講者のアンケート結果
- ☆ さざなみインフォメーション

◆男女共同参画社会基本法5本の柱

- ①男女の人権の尊重
- ②社会における制度又は慣行についての配慮
- ③政策等の立案及び決定への共同参画
- ④家庭生活における活動と他の活動の両立
- ⑤国際的協調

第5回セミナーのご協力ありがとうございました。

みんなで 支える

みんな で 子育て

12月5日（土）成田市保健福祉館多目的ホールを会場に第5回男女共同参画セミナーを開催しました。

仕事と家庭を両立された方、子育て真っ最中のパパ、国際結婚されたご夫婦の経験談を、子育てボランティアや教育相談でご活躍されている眞鍋里美さんをキーパーソンにお聞きすることができました。お話の要旨と、参加されたみなさまからの感想と意見の一部を掲載します。

☆ 飯田 重子 さん（西大須賀）

大家族での暮らしの中、家族の協力・夫の理解により保育士として仕事を続けてきました。様々な人に助けられながら子育て、仕事にたずさわれたことは、幸せなことだと思います。仕事を離れた現在は、孫育てを楽しむ毎日です。



☆ 坂井 亮介 さん（加良部）

共働き夫婦で交代して育児休業を取得し、私が取得して1年3カ月になります。1月から職場復帰することとなっています。公園などに行くと「今日はパパと一緒に来たの」とよく言われましたが、子どもと父親がいつも一緒にいるのは特別な事ではなく、基本的な家事・育児をする上では父性、母性と言った単純な性差は関係ないのではないかと思います。家事・子育てにおいて、父親の勇気の一步、また、それを支える行政、社会の支援が必要だと感じます。



☆ プラヨガ・エカさん、信子さん（久井崎）

エカさん インドネシアジャワ出身で信子さんの両親と同居しています。5ヶ国語を話すことができますが日本語が一番難しいです。インドネシアとの習慣の違いにとまどいながらも頑張っています。

信子さん 文化の違い、食の違い、言葉の違いは、予想以上に大変で一年間ぐらいは、お互いにイライラやストレスがあった。両親の協力がとてもありがたく思います。子育てに対してもインドネシアはとても大らかで、2国を融合させながら、もうすぐ生まれる子も含めて子育てしたいと思います。



☆ 眞鍋 里美 さん（玉造）

それぞれ皆さん悩み試行錯誤しながらも夫婦が向き合い、家族が協力し、そして周りの人達の協力の中での子育てだと感じました。子どもの成長には色々な人との関わりが大切で、親にとっても子育てを通して多くを学び共に自分をも育ててくれるものだと思います。安全で安心な子育て環境は、家族と地域社会のつながりの中に優しさとおたたかきのある子育て論を広げる事によって生み出されるものだと思います。皆の手の中で育てられているという実感を与えられるような地域の子育てを考えてみましょう。

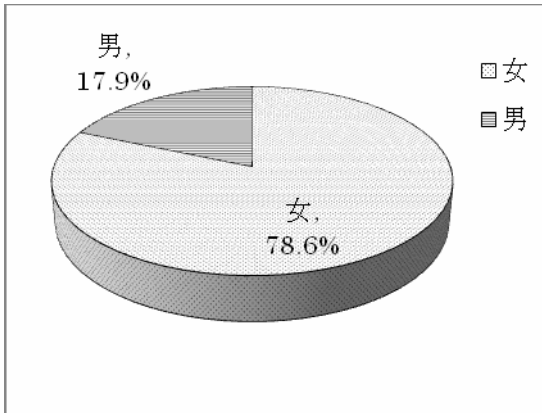




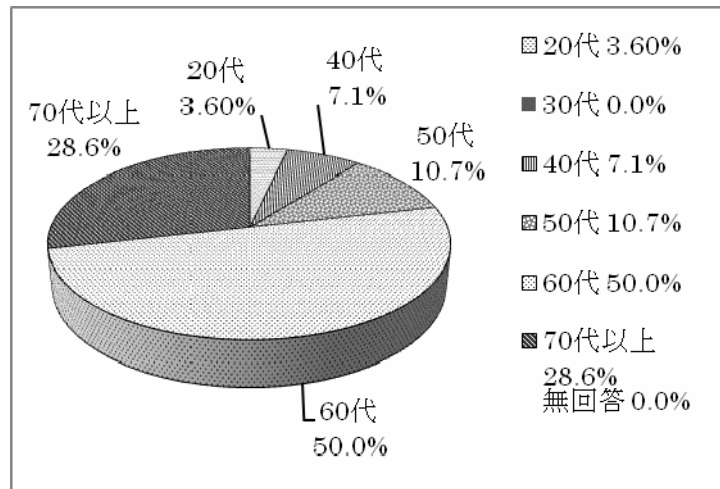
# 第 5 回 セミナーのアンケート結果



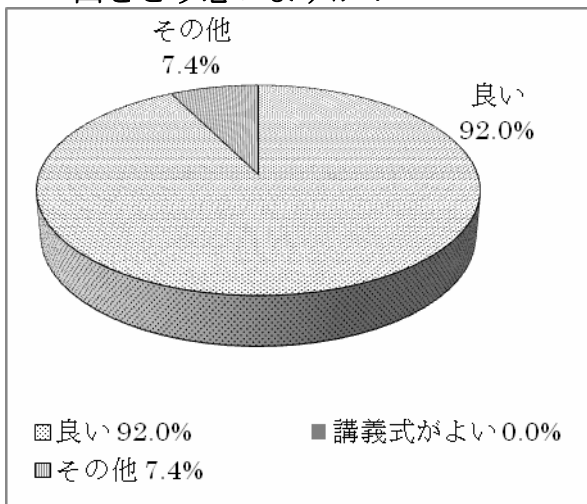
## 1. 参加者の性別は？



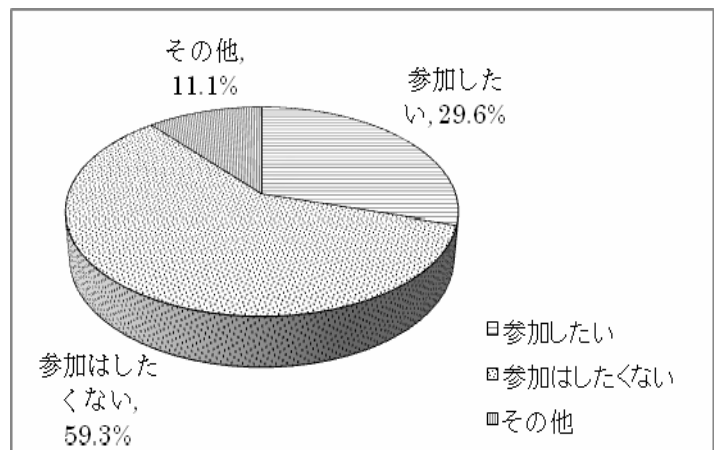
## 2. 参加者の年齢



## 3. 今回のような市民が参加する企画をどう思いますか？



## 4. 今回のような企画があった場合、出演者として参加してみたいと思いますか？



## 5. 参加された皆さんの感想・意見

<p>子育て支援の成功例を聞くことができ、時代の変遷を感じとることができました。 (50代女性)</p>	<p>3組のお話。年代や性別、国際的な違いが見えて、体験談が貴重でした。 (60代女性)</p>
<p>若い方々の子育ての取り組みを聞くことは、孫の対応に参考となった。企業、地域との理解により育児休暇が利用できることは幸せと思われる。父親の育休は復職を考えると難題と思われるが。 (60代男性)</p>	<p>育児休業取得は、職場に恵まれていると思います。法が整備されても民間企業は業績重視。現実とのギャップが未だあります。経営者・上司の考え方で可能性がかわり現況では厳しい状況にあると思います。 (60代男性)</p>
<p>夫（父親）の育児休暇、国際結婚による育児の体験談。とても有意義でした。育児は母親という社会通念を超えてごく当たり前のこととして父親の参加が認められる社会を望みます。 (70代女性)</p>	<p>ざっくばらんなお話で親しみをもって参加させていただきました。今後もこの様なセミナーに参加してみたいと思います。 (40代女性)</p>
	<p>育児休業の体験談は、若いご夫婦、学生の皆さんに是非聞かせてあげたいと感じました。4人の方々の育児、子育て体験談は大変有意義でした。 (50代女性)</p>

# さざなみインフォメーション

## ◆男女共同参画推進員を募集します

社会や家庭で、男性と女性がさらに平等になるために講演会やセミナーを開催し啓発をおこなっています。

その、企画運営に携わり男女共同参画社会の推進を担っていただく男女共同参画推進員を募集いたします。

- ☆ **応募資格** 市内在住で平成22年4月1日現在20歳以上75歳未満の人
- ☆ **募集人数** 10人
- ☆ **応募方法** 様式は問いませんが、次のことを記載したものを持参、郵送、FAXまたは、Eメールで企画政策課へ
  - ・住所、氏名、性別、生年月日、これまで参加した活動。「私が思う男女共同参画」について400字程度にまとめたもの。
- ☆ **応募締め切り** 2月19日（金）必着
- \* 詳しくは企画政策課(20-1500)へお問合せ下さい。

## ◆おたより募集！

- ☆男女共同参画に関するご意見・ご感想などをお送りください。お待ちしております。
- ☆おたよりの送付先
 

〒286-8585 成田市花崎町 760

成田市企画政策部企画政策課 男女共同参画班

☎ 20-1500 ファックス 24-1006

Eメール [kikaku@city.narita.chiba.jp](mailto:kikaku@city.narita.chiba.jp)

## ⊕働くお母さん・お父さんの豆知識⊕

### 千葉県農山漁村いきいきアドバイザー

千葉県では、農山漁村での男女のパートナーシップの確立と女性の経営参画と地域活性化に資することを目的に「千葉県農山漁村いきいきアドバイザー」を制定し、地域農林水産業の振興や、活力ある農山漁村づくりに積極的に取り組んでいる農林水産業従事者を「千葉県農山漁村いきいきアドバイザー」として認定しています。平成19年度から始まった制度で、平成21年度現在81名が認定を受け活動しています。

成田市にも、平成20年度に第1号となる「千葉県農山漁村いきいきアドバイザー」が誕生し、個別農業等従事者へ男女共同参画の推進、活力ある地域づくりに女性の積極的参画などの働きかけ等の活動を続けています。是非アドバイザーに声かけしてみてください。



{詳しくは 印旛農林振興センター  
改良普及課 TEL.043-483-1130}

## 編集後記

現政権が公開により実施した「事業仕分け」が、家庭にも取りいれられ、厳しい査定がおこなわれたという。自分の要求と家計の実情との調整。家人との緊張感ある交渉の中で意外なコミュニケーションの楽しみを感じた方もいたのでは。けれども、家庭の仕分け人も、手厳しかったそうです。理論武装を高めて挑戦してみてもは。さざなみは、支所、公民館、図書館、保健福祉館、三里塚コミュニティセンター、市のホームページ <http://www.city.narita.chiba.jp> にあります。